



いちご組だより



尚徳福祉会 坂戸保育園
2020. 1.

連休が明け、久しぶりに登園した子ども達は元気いっぱい、一回り大きくなったように感じます。いちご組で過ごす日も残り3か月になりました。先を急がず、目の前の子ども達とじっくり関わりながら成長を見守っていきたいと思います。



福笑い

今年は丑年ですね。お正月遊びの福笑いを丑で作ってみました。子ども達はシール貼りが大好きで、友達がやっている则ちとん集まり“何してるのかな？”“やってみたい”と順番待ちをしています。子ども達はどこに貼ろうかな？という迷いはなく、思うがままにペタペタと貼り、完成した物を見せると嬉しそうな表情を見せていました。あんな顔やこんな顔があり、今年も笑って過ごせるような年にしていきたいと思います。



上手にバランスできるよ

一段と活発になってき子ども達は、バランスも少しずつとれるようになってきました。部屋にはシーソーの形になっているバランスボードがあり、上を歩くとカタンと動きますが、以前までは恐くて歩けなかった子も、バランスをとってトコトコと渡れるようになりました。友達とシーソーのように上下に動くのを楽しんだり、立ちながら一人でバランスを取って遊ぶ子もいました。「おととと」と、声を掛けてあげると、自分の体と言葉が同じに感じ、子ども達はとっても嬉しそうです。

保育者がクルクルとその場で回って見せると、子ども達も回ろうとしたり、ジャンプを見せると、しゃがんでジャンプをしようとする姿も見られ、体を上手に動かせるようになり子ども達も楽しそうです。



おままごと

部屋にままごとセットを用意しました。子ども達はすぐに飛びつき、スプーンやフォークを手に取って「あむあむ」と、自分で食べたり友達や人形にも食べさせたりして、やりとりを楽しんでいます。保育者が「おいしくなーれ♪×2」と、リズムにのって歌うと、子ども達も体を左右に揺らしてたっぷりの愛情を込めてご馳走を作っています。鍋の蓋を手にとった子は、どうやって使う物なのか分からず頭に載せ、ベレー帽のようで可愛い姿でした。今は砂場でも部屋でもおままごとを楽しんでいます。

